

人権委員会だより

2016. 1. 15 発行

点字講座・松山盲学校との交流体験学習会報告

私たち人権委員会と生徒会役員は、11月9日から点字講座を4回実施し、点字の成り立ちや打ち方について学びました。また12月11日には、愛媛県立松山盲学校との交流体験学習会を実施しました。

今号の人権委員会だよりでは、点字講座の様子や松山盲学校との交流体験学習会の報告をします。

1 点字講座

点訳奉仕四つ葉グループの二宮紀子さんと小川静乃さんを講師にお迎えして点字を教えていただきました。



<参加者の感想>

- ・ 最初は上手に打てなくて、力が強すぎて紙に穴が空いてしまったりしましたが、どんどん上手に打てるようになりました。
- ・ 点字講座を受けてから、空き缶やエレベーターの中など、あちこちに点字があることに気がきました。
- ・ 点字を打つのは、手が痛くなって大変でした。普通に書くよりもずっとずっと時間がかかりました。
- ・ 分かち書きを学びました。どこで分けるかが面白かったです。
- ・ 北条高校を「ほーじょーこーこー」と伸ばすことが不思議で、何度か間違えてしまいました。バランスを考えて打つのが難しかったです。
- ・ 点字には打ち方のルールがあることを知りました。ルールを覚えて、読めるようになりたいです。

2 愛媛県立松山盲学校との交流体験学習

12月11日の午後、人権委員会9名と生徒会役員2名の計11名が松山盲学校を訪問し、松山盲学校高等部の生徒3名と交流体験学習を行いました。自己紹介をしてから色々な話をしました。



その後、全盲体験と弱視体験をしました。全盲体験では、アイマスクを付けて階段を上ったり障害物をよけたりしながら、校内を歩きました。目の見えない方を手引きする体験もしました。

弱視体験では、特殊な眼鏡をかけて、視界がぼやけたり視野が狭くなっている状態で、風船やボールをキャッチしました。また、漢字テストにも挑戦しました。明朝体



は読みにくく、ゴシック体の方が読みやすいことや、白背景に黒文字よりも、黒背景に白文字の方が読みやすいことを体感しました。

<参加者の感想>

- ・ 今回の交流体験で、目が見えない怖さと不便さを知りました。今の自分が置かれている状況に感謝したいと思いました。
- ・好きな音楽の話や、楽器の演奏をしている話を聞いて、自分たちと何も変わらない普通の高校生なんだと、改めて思いました。
- ・目が見えないということは本当に大変だと分かりました。今日学んだことを生かして、町中などで困っている人がいたら、積極的に声をかけて、助けになればいいなあと思います。
- ・盲学校の生徒さんはずっと笑顔で接してくれて、私も幸せな気持ちになりました。自分のやりたいことや好きなことを見つけて、毎日を楽しんでいる姿を見て素敵だなあと感じました。